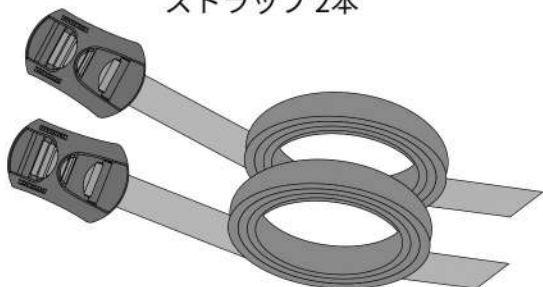
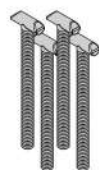
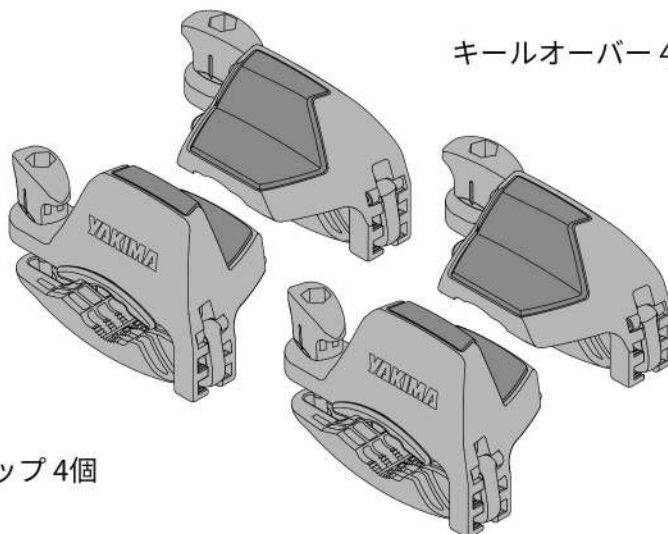


ストラップ 2本



キールオーバー 4個

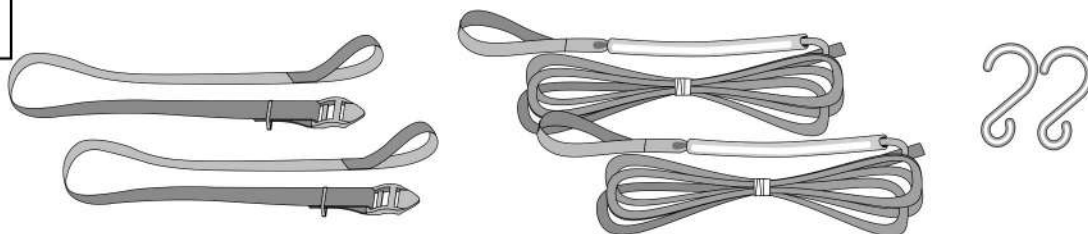


ロングTボルト 4本



ビニールキャップ 4個

船首・船尾固定用

**おすすめアクセサリー：フットアンカー #8007416**

固定ポイントがない車両に、リアハッチ・トランク・ボンネットに船首および船尾を安全に固定できます。

**重要な警告**

カーキャリアおよびアクセサリーは、車両に適切かつ確実に取り付けることが重要です。

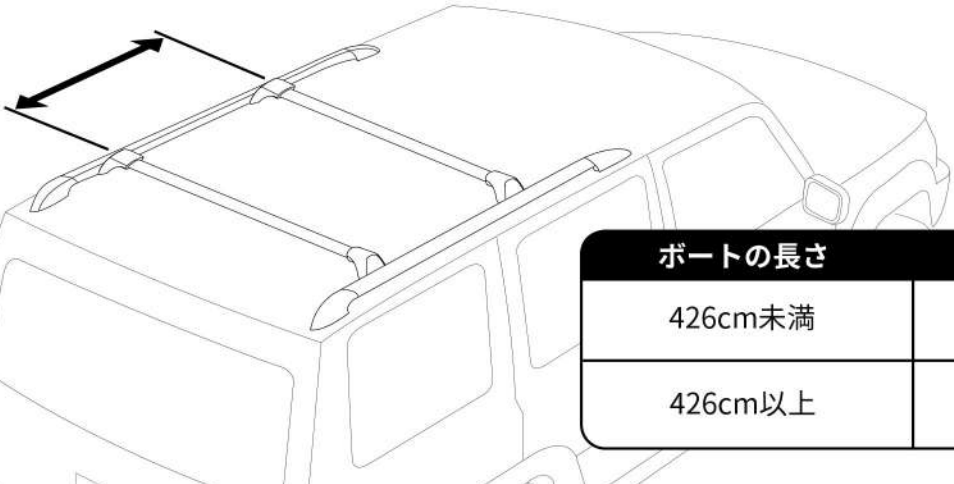
不適切な取り付けは重大な事故につながる恐れがあります。

カーキャリアおよびアクセサリーを車両に確実に固定し、使用前には取り付け部分に緩みなどがないかを確認してください。

また、定期的に製品の調整や摩耗・損傷の有無を点検してください。

取り付け時や使用前に、本取付説明書をよくお読みください。

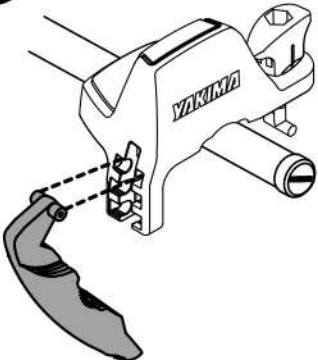
説明および注意事項が完全に理解できない場合や、機械的な経験がなく、取り付け手順に精通していない場合は、専門の取り付け業者に製品の取り付けを依頼してください。



ボートを車両の中央に配置できるよう、以下の表に従い、クロスバーを最適な位置に移動させてください。Qタワーは移動させないでください。

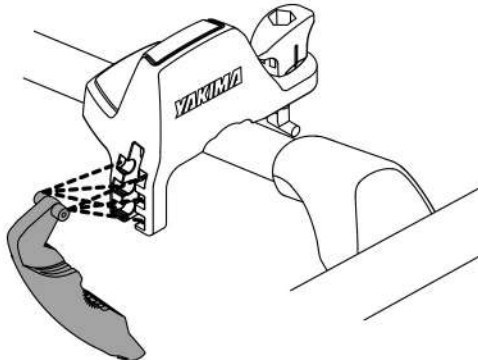
ボートの長さ	クロスバーの最小間隔
426cm未満	64cm
426cm以上	76cm

①



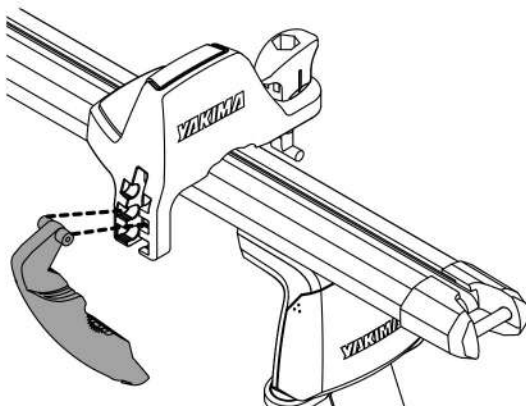
**ラウンドバー/ウィスプバー
スクエアバー**

1番上のノッチ、取り付けられているTボルトを使用してください。



純正クロスバー

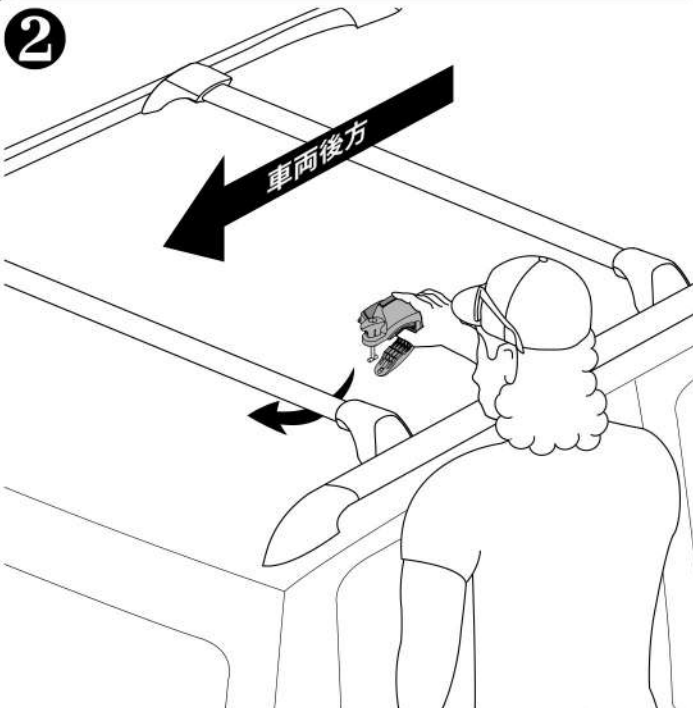
確実に取り付けることができる最適なノッチとTボルトの組み合わせを、お選びください。



YAKIMA HDバー

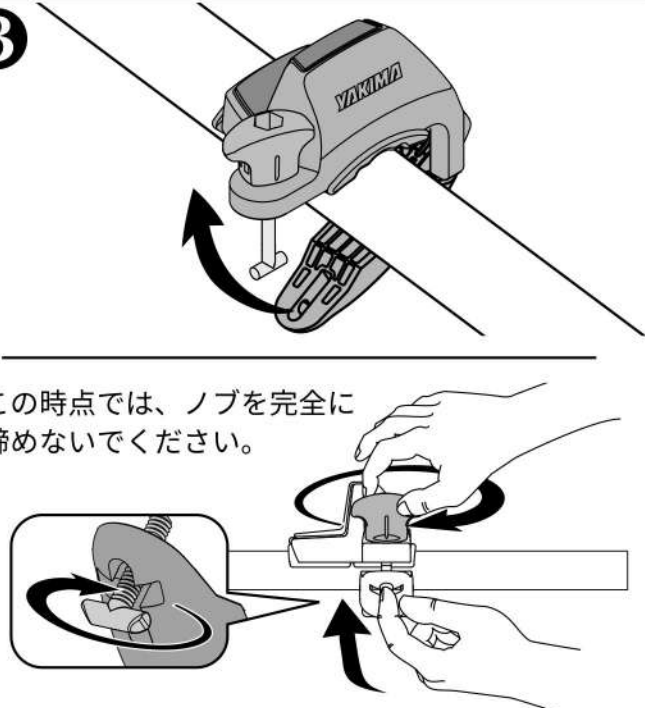
中央のノッチとロングTボルトを使用してください。

②



車両後方

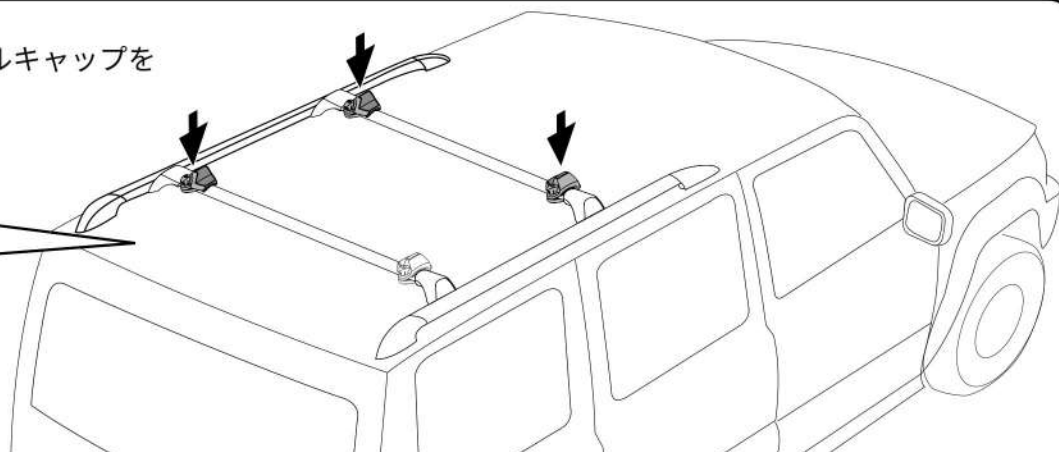
③



この時点では、ノブを完全に締めないでください。

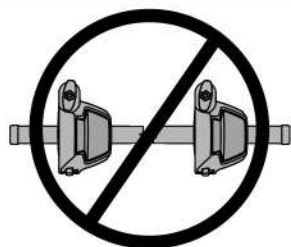
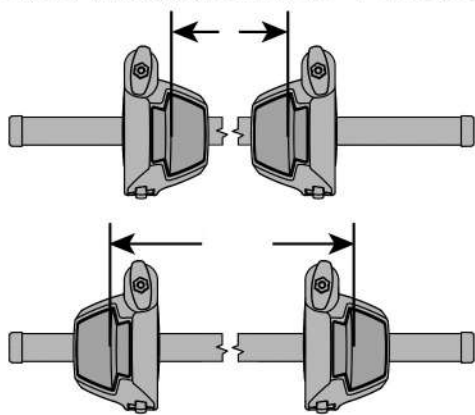
4

Tボルトの先にビニルキャップを取り付けます。



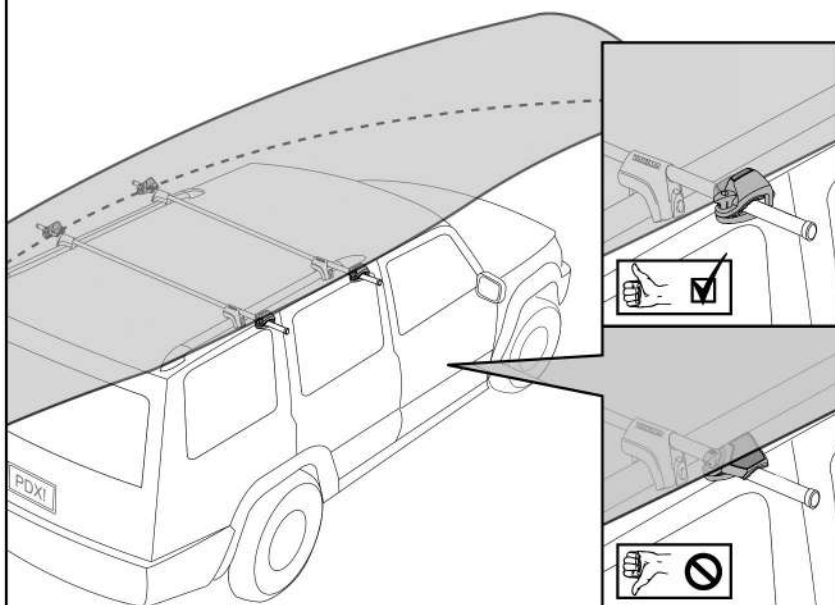
大きなボートを載せる場合

ブラケットの向きを変えることによって、積み込み幅を最大7.6cm大きくできます。

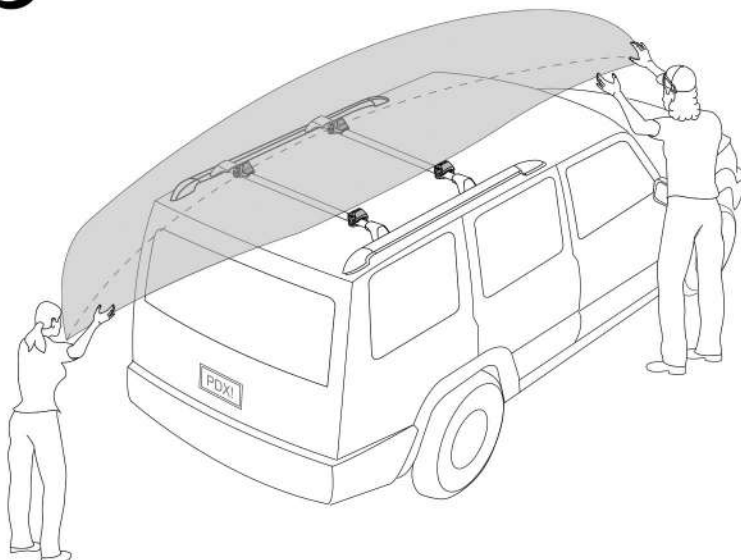


取り付け時にブラケットの向きを混合で使用することはできません

YAKIMAの、タワーからクロスバーが出る形状のベースキャリアであれば、キールオーバーをタワーの外側に設置し、より大きなボートを積載することもできます。



5



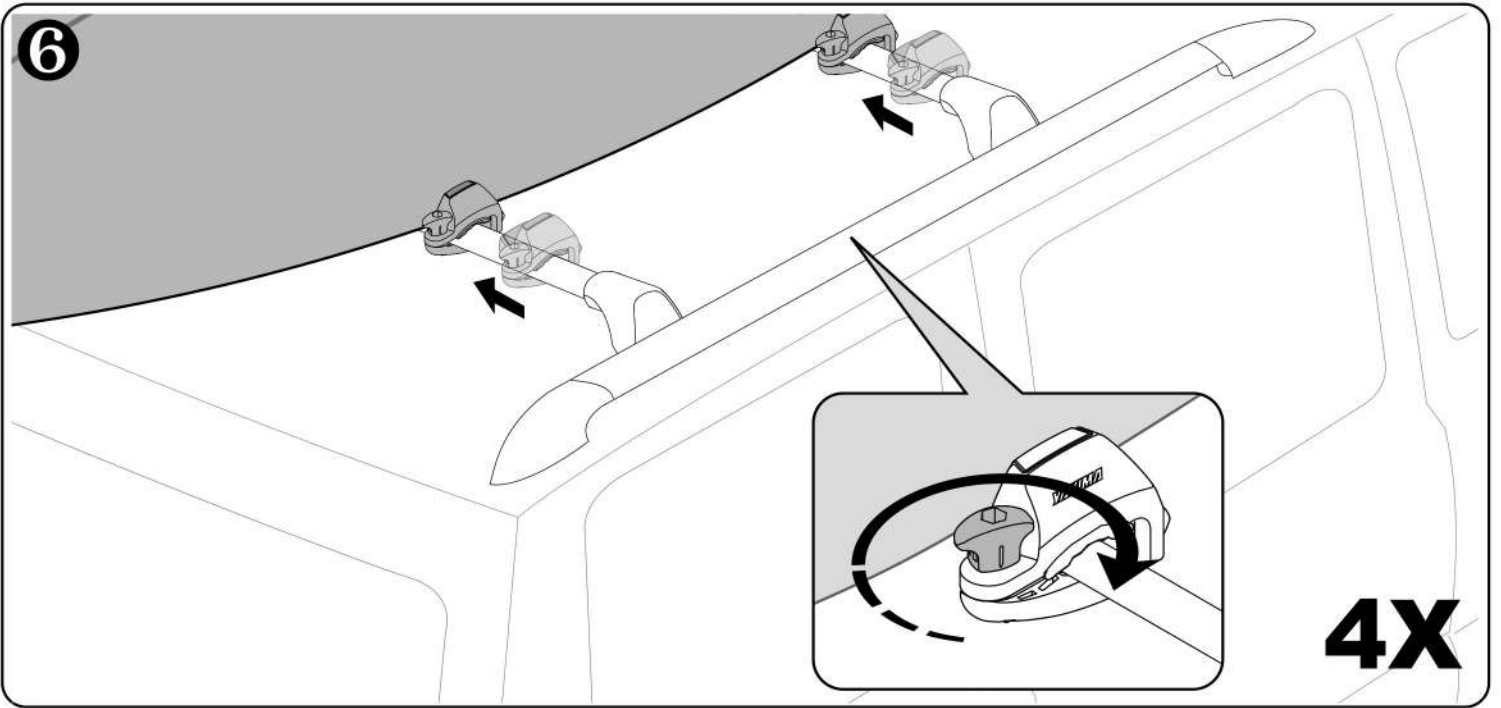
別売り ショーボート66

ショーボート66
(#8004068)

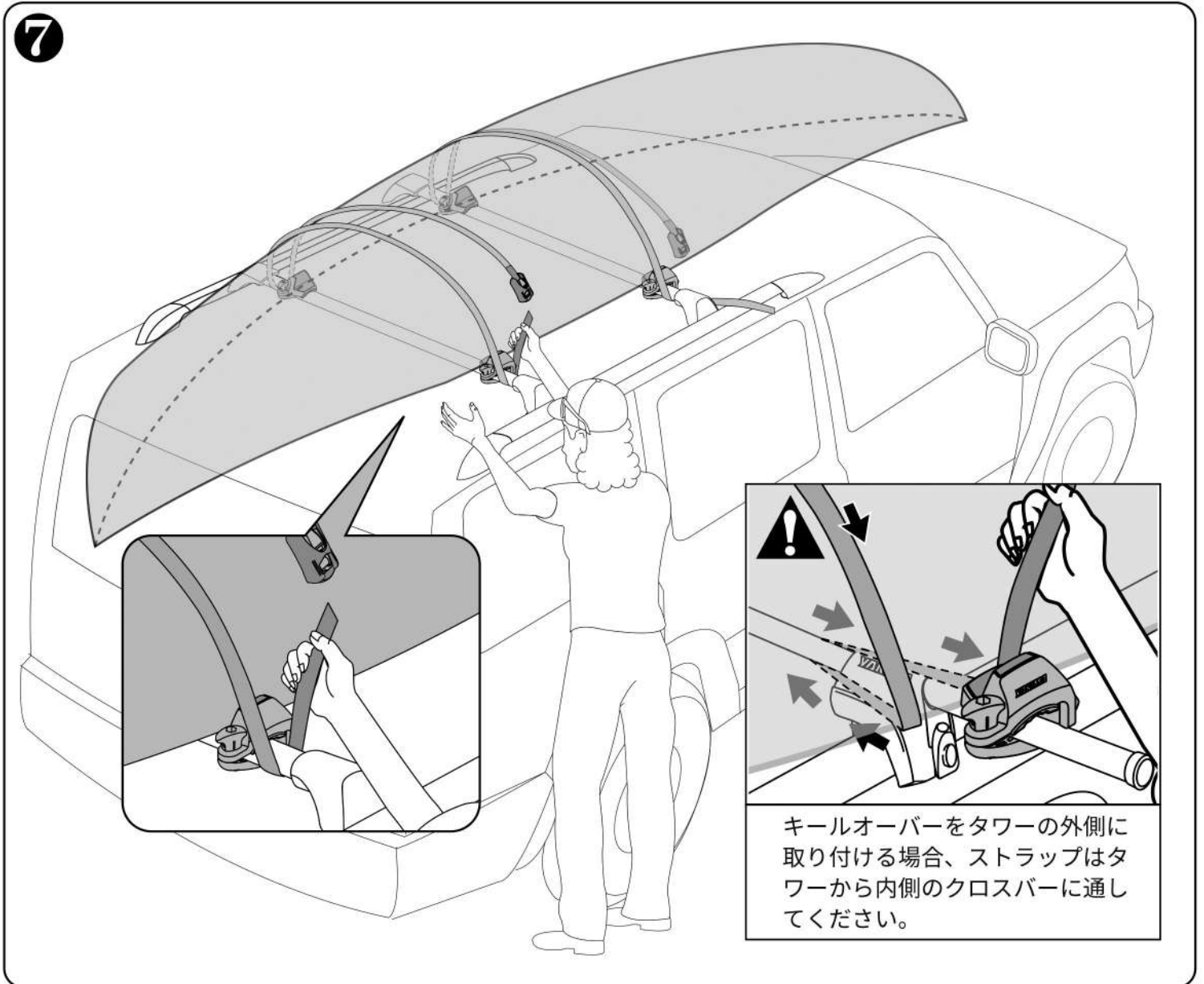


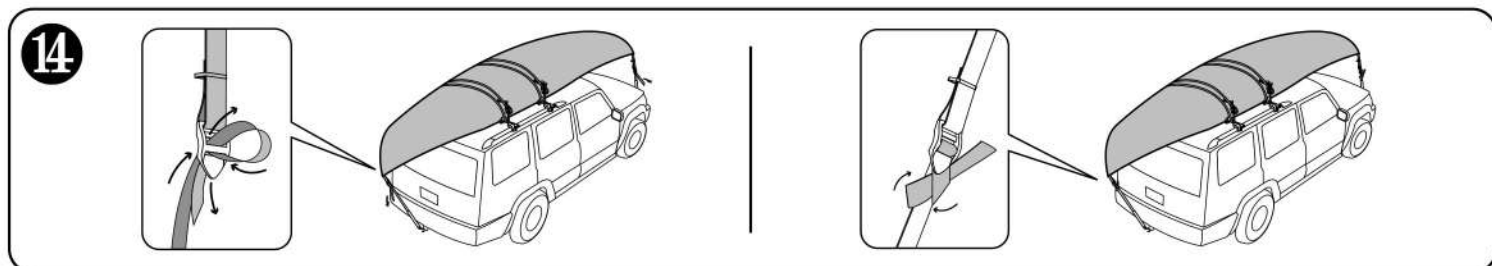
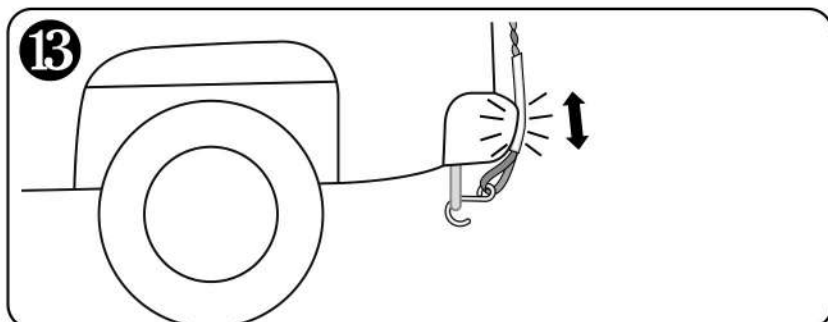
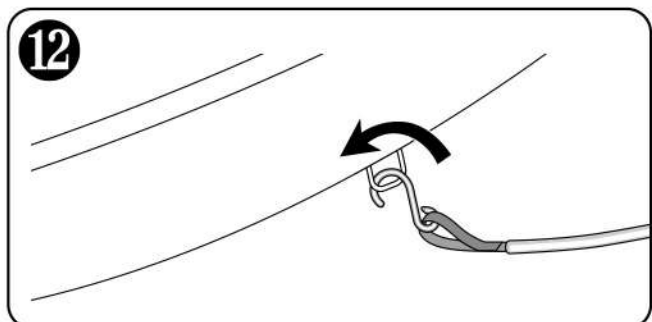
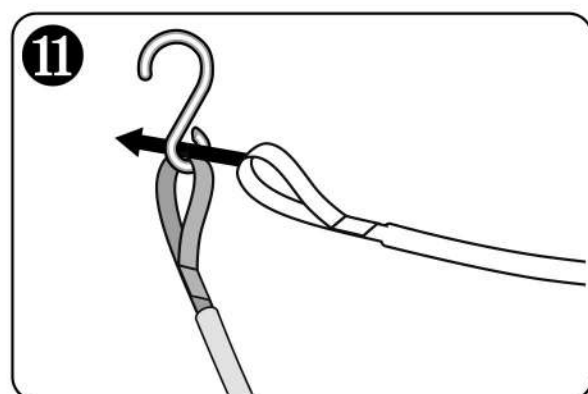
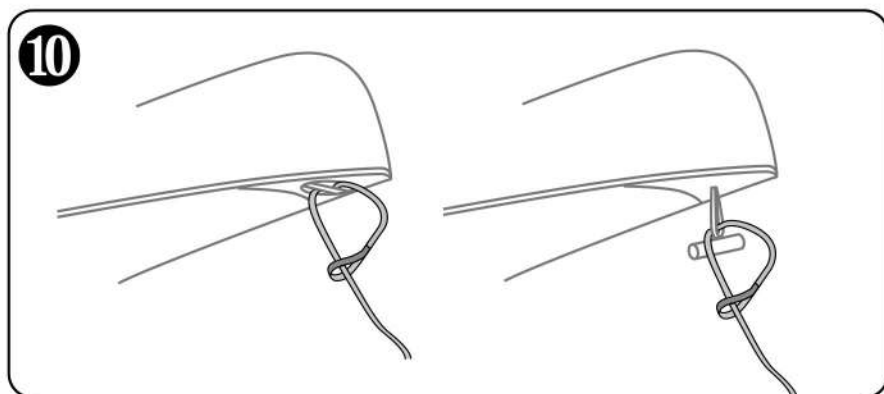
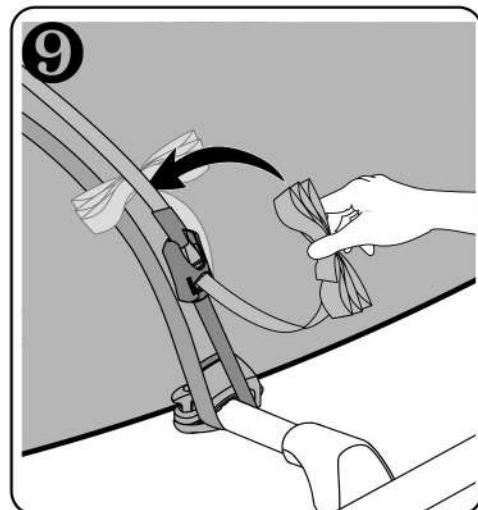
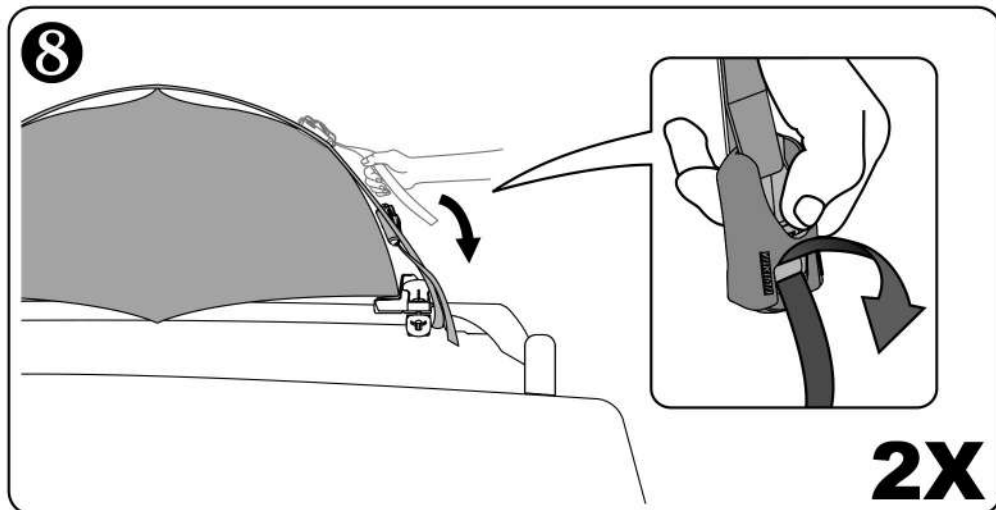
積載補助ローラーがついていて、お1人でも簡単にボートを車両のルーフに載せることができます。

6



7

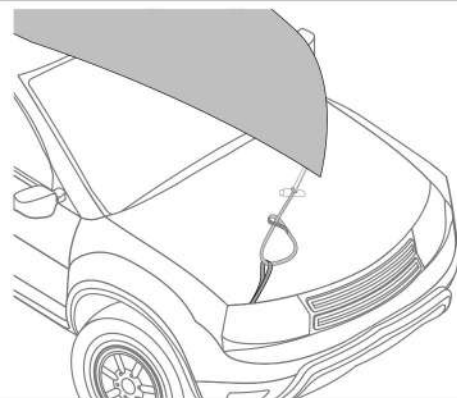




フードアンカー



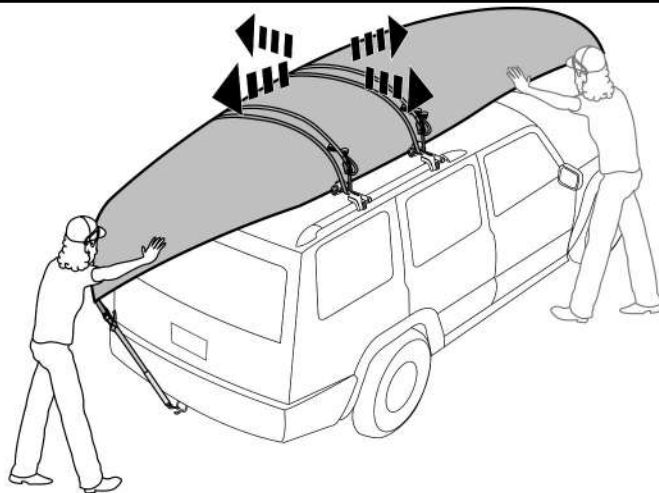
ボートを運搬する場合は、船首および船尾の固定が必要です。
 お使いの車両に固定ポイントがない場合や、車両に損傷が生じる恐れがある場合は、必ず別売りのフードアンカー(#8007416)をご使用ください。



15

積載テスト

ボートを前後左右に揺らして、しっかりと固定されているかを確認してください。
ボートが動く場合は、ノブとストラップを締め直してください。
ボートがしっかりと固定されていない状態での走行はおやめください。



重要

本取扱説明書に同封されている、別紙に記載の警告および保証情報を必ずお読みください！

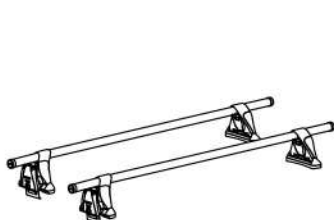


走行上の注意

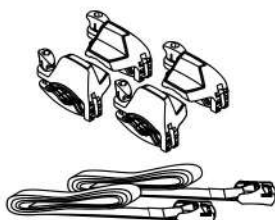


- 速度制限や道路上の警告には、常に従ってください。
- 道路状況（強風、突風など）に応じて速度や運転方法を調整してください。

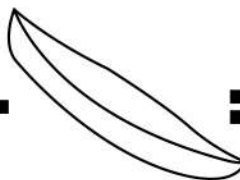
耐荷重



ベースキャリア
本体重量



キールオーバー
1.2kg



積載物重量
54.4kg



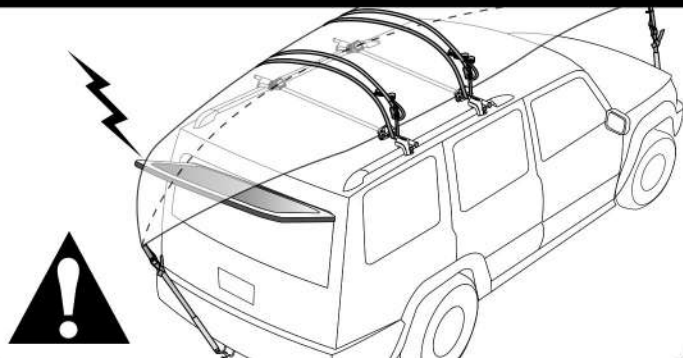
車両のルーフ耐荷重、およびベースキャリアの最大耐荷重を超えない。

積載に関する注意



長い荷物の前部および後部を車両の両端にしっかりと固定できていない場合、重大な事故につながる恐れがあります。

リアハッチ



本取付説明書は、大切に保管してください！